

シン学校プロジェクト(第1期) 一宮市立大和南小学校基本計画(案) 地域説明会 当日質疑

- 日時:2025年(令和7)年11月8日 午前10時00分～午前11時30分
- 場所:大和南小学校 屋内運動場
- 参加者数:72人
- 質疑応答:10件(7人) 詳細は、下記のとおり。
ご質問・ご意見の内容は、発言又は原文の一部を要約、分割するなどし、掲載しています。

| No. | ご質問・意見の概要 | 市の考え方(回答) |
|-----|--|--|
| 1 | <p>中学校を廃校し、小中一貫校となる計画ですが、小学校と中学校では児童生徒の体型や学習時間などが異なります。中学生は高校受験などが控えており、まったく別物であると思います。これらを一緒にするにはエネルギーが必要です。先生方についても、経験が蓄積されていません。こうした課題を懸念していますが、どのように考えていらっしゃるでしょうか。また、本日は学校教育課が参加していません。実際に学びをつくっていくのは学校教育課だと思います。小規模学校は児童生徒に行き届いた学びができるメリットもあります。なぜ、本日は学校教育課が出席していないのか、その理由が知りたいです。</p> | <p>学校教育課が来ていない理由と関連しますが、本日は基本計画として建物整備の方針や使い方の説明を行っています。現在、学校教育課にて先生の配置や特徴のある学び、小中一貫校としてどのように計画するかを検討しております。なお、施設整備のコンセプト・基本方針についても、関連する各課と共有し、協議の上、進めております。</p> |
| 2 | <p>中学校と小学校では教育内容が大きく異なります。中学校は高校への進学や部活動の内容が重要視されています。そうした中、一つの運動場の中で、小中が一体となり、しっかりと運用がされるでしょうか。現在の小学校を改修して小中一貫校にしていくということですが、なぜ新築にしないのでしょうか。どのように考えているのか教えてください。また、中学校の跡地はどのように考えているのか、ご説明をお願いしたいです。</p> | <p>今回の計画では、施設一体型校舎の小中一貫校としております。同じ敷地内ですが、小学校と中学校の校舎は別であり、校長も小・中学校でそれぞれ配置します。1つの学校の中に小学校と中学校の2つの学校を配置することにより、これまでにない、小学校と中学校の連続性や連携の向上、教育課程、人事配置、生活指導および生徒指導等において、特にメリットがあると考えます。例えば、9年を見通した特色ある教育課程を設けることができること。小学校免許を保持する中学校教員が、小学校で専科を担当できるなど、比較的柔軟性のある人事配置ができ、教育負担の軽減につながる可能性があること。教職員間の情報共有が容易になることで、一貫性のある生活指導ができ、児童生徒への支援の質が向上することなどがあげられます。また、より広範な異学年交流が可能となるため、キャリア教育も充実させられます。これは児童生徒のみならず、進学や進路決定に関する保護者の不安を、軽減することにも繋がると考えています。</p> <p>大和南小学校の校舎を、長寿命化改修とした理由については、大和南小学校の校舎の現状の把握をするため、耐力度調査を実施しました。耐力度調査では、学校施設における建物の構造耐力、経年による耐力や機能の低下を測る健全度、立地条件による影響の3点の項目を総合的に調査し、その結果を踏まえて建て替えか改修かを検討しました。調査結果として、大和南小学校の校舎は、十分な耐力があり、建て替えの必要が無いことを確認しました。耐力度調査の結果を踏まえ、既存校舎を活かした、長寿命化改修を検討する方針としました。</p> <p>大和南中学校の跡地については、現時点で未定です。</p> |
| 3 | <p>地域開放エリアについて地域の方が利用する時間帯などをどのように考えているのか、平日に開放するとした場合、学校が開いている時に開放する中で、小中一体となった際にしっかりとセキュリティが確保できるのでしょうか。一方、休日・夜間の開放であれば、コンセプトに示された地域に開かれた、地域と連携した学びの場は実現するのでしょうか。こうしたことについて説明していただきたいです。</p> <p>グラウンドについても学年の差によって環境が違うため、人数の問題ではなく、これだけの狭いグラウンドで達成できるのか、子どもたちのためにという視点で考えていただきたいです。</p> | <p>地域開放の時間帯としては、学校の授業で使用しない時間帯等を想定しております。</p> <p>セキュリティラインについては、南舎の西側のエリアにて地域開放を想定しており、東側の普通教室エリアとシャッターや扉などの、物理的な隔離を考えています。学校エリアと地域開放エリアとは、曜日や時間帯に応じて、段階的なセキュリティをかけられる配置とし、防犯カメラや防犯モニターの設置や、電子錠、シャッターなどでの区画、カラーコーンなどによる視覚的な区画や、大人の視線を増やすなどの人的方法などが考えられますが、今後の基本設計、実施設計の際に検討いたします。</p> <p>運動場については、異学年同士が活動できる運動場、地域開放可能な運動場として計画いたします。運動場の大きさとしては、文部科学省が定める、小・中学校の運動場の必要面積を確保いたします。</p> |
| 4 | <p>コンセプトはとても素晴らしいものだと考えています。小学校と中学校の枠を柔軟に超えて連携することも期待しています。一方で、他の方が質問されていることとつながりますが、いくつか質問したいです。ワークショップでは地域に開かれた学校という中で、公園敷地を活用し学校を新設するという提案があったと思うのですが、本日はそれが変更されているようです。既存の校舎では足りないという課題もあり、検討を始めたと思うのですが、この結果に至った経緯や根拠を示していただきたいです。また、セキュリティーについて、この学校で確保できるのか心配しています。</p> <p>さらに、学校教育の中で知育、食育、体育が重要であると考えていますが、小学校と中学校では大きな違いがあります。特に体育については、グラウンドが狭いのではないかと思います。中学生と小学生と一緒に体育学習が可能なのでしょうか。無理やり100mを確保しているように見えますが、これで大丈夫でしょうか。また、全中学校に武道場を設置しているとのことですが、本計画では屋内運動場を併用することとなっています。これで運用は可能なのでしょうか。コンセプトは素晴らしいですが、実現するのか疑問に思います。</p> | <p>ワークショップでは、連田公園を学校敷地に取り込む計画をお示していました。当初、小中学校を合わせるということで、必要となる教室の洗い出しをしました。小学校、中学校それぞれで特別教室を設けた場合、現在の教室数では不足することになるので、増築棟の建設が必要と考えていました。増築棟を建設する場合は、建築基準法の規定により、連田公園に増築棟の影がかからないようにしなければならぬため、公園と学校敷地を一体とすることで解消しようと考えていました。しかし、小学生と中学生で特別教室等を兼用することで現在の校舎のままでも、必要な教室を確保できないか検討したところ、必要な教室が確保できることが分かりましたので、校舎の増築を取り止め、連田公園を学校敷地とすることも取り止めました。</p> <p>セキュリティについては、南舎の西側エリアを地域開放することとしており、東側の普通教室エリアとの間にシャッターや扉などを設置し、セキュリティラインを設ける予定です。学校エリアと地域開放エリアとは、曜日や時間帯に応じて、段階的なセキュリティをかけられる配置とし、防犯カメラや防犯モニターの設置や、電子錠、シャッターなどでの区画、カラーコーンなどによる視覚的な区画や、大人の目を増やすなどの人的方法などが考えられますが、今後の基本設計、実施設計の際に、学校との協議を行いながら検討いたします。</p> <p>屋内運動場については、地域開放可能な体育館、地域の防災拠点としての整備、といったワークショップのご意見をもとに計画いたします。屋内運動場の生徒1人あたりの面積に換算すると、他の中学校と同等のため、学校と協議の上、使用の際のルールを定める等により、支障なく使用できると考えております。</p> <p>また、武道場がないことについては、現在、大和南中学校の体育の授業で行っている武道は、1年生の男子が剣道、1年生の女子が柔道、2年生の男子が柔道を実施しております。中学体育の授業では男女別2クラス同時に実施しますので、大和南中学校における1年間に実施する柔道の授業は1年生女子と2年生男子あわせて16時間であり、柔道の授業では、投げ技は行わず寝技を中心に行っているため、屋内運動場にて移動式の畳を使用して行うことで授業を実施できると考えています。</p> <p>運動場については、異学年同士が活動できる運動場、地域開放可能な運動場として計画いたします。運動場の大きさとしては、文部科学省が定める、小・中学校の運動場の必要面積を確保いたします。市内の多くの中学校で200㎡トラックを整備しており、大和南小学校でも同様に整備することができます。また中学生の体力テストでも50m走のタイムを基準としております。したがって、100mの直走路が必ずしも必要というわけではありませんが、実際に児童と生徒が運動場を共用するとすると、その動線が交錯してしまう可能性もありますので、ルールを決めて児童生徒が安心して運動が出来るようにする予定です。</p> |

| No. | ご質問・意見の概要 | 市の考え方(回答) |
|-----|---|---|
| 5 | <p>少子高齢化で子どもが少なくなっていることを懸念しています。ワークショップで言われている安全で安心な学校について疑問を持っています。公園や屋内運動場が避難場所となっているほか、校舎の3階までも避難可能とのことですが、公園は800世帯の避難場所となっているのです。防災の面でも公園と屋内運動場はどのように考えておられるのかお伺いしたいです。住民不在ではいけないと思いますので、今後も考慮いただきたいです。</p> | <p>公園は避難場所、屋内運動場は今後も避難所として活用いただけます。</p> |
| 6 | <p>連田公園は残るといいのでしょうか。</p> | <p>連田公園は、現状のままとします。</p> |
| 7 | <p>ワークショップに参加してきました。これまでの質問にあった内容もワークショップでも議論され、4回では足りず、5回目を設けて実施しました。5回で示された計画では教室が足りないという課題が示され、増設することとなっています。また、ラーニングセンターについても重要な中心的な場所となることでもまとめられました。一方、今回の説明では公園も使わず、コンパクトな視点で兼用を見据え、限られた教室を使うという抑えられた計画が説明されました。これらは、ワークショップでは意見が出ていません。これまで地域で話し合った意見は一切聞き入れられず、何のためのワークショップだったのかという疑問が残ります。シン学校プロジェクトの目的は地域との意見をすり合わせるという理念があり、市民の意見、地域の皆さんと一緒に考えていくという市長の言葉をどのように考えていらっしゃるのかお聞かせいただきたいです。</p> | <p>ワークショップでの意見をできる限り取り入れたいと考えています。地域開放という言葉もそうですが、ただの学校という施設ではなく地域の拠点となることも検討してきたと考えています。私たちも様々な議論をしてこの計画にたどり着いています。また、概算事業費を示していますが、改修工事に22億円かかる見込みです。北部中学校の北舎を建替える際と同等の金額です。改修では骨組みのみを活用する大改修となる予定です。</p> |
| 8 | <p>資金がないということがすべての要因であるように思えてなりません。市民の意見を踏まえて計画をするという当初の理念はどのようになったのでしょうか。選ばれる学校にする、地域の魅力となる学校にするのはどのような考えにもとづくのでしょうか。当初の教育委員会のプランに合うものだけ取り込まれた計画であり、地域の意見はまったく反映されていないと感じています。市長の言葉をどのようにとらえればよいのかお聞かせください。</p> | <p>連田公園は、地域の皆さまが利用されているという実態もあり、学校敷地とするには代替えの公園を造る必要があり、その費用も事業費となることや、近くで公園用地を確保する目途が立たないという課題があります。こうした中、現在の施設でコンセプトを実現していきたいと考えています。皆様のご意見があることについては受け止めますが、ご理解いただきたいです。</p> |
| 9 | <p>効果的な教育を実現し、学区外からも受け入れるという方針も示されています。現在、小学校および中学校ともに小規模であり、中学校は学習指導要領で求められる探究学習が実現できるのでしょうか。探究学習には児童生徒が自ら生きる力を身につけるとい趣旨があります。少人数特認校を認めていただき、先生の2人体制や大学からも先生として来ていただくことも考えられています。このようなことを実現するためには、駐車場の拡張なども行っていただきたいです。もっと情報を発信し、一宮市にとってもホットな学校にするために改めて検討していただきたいと思います。登下校に関する交通安全の面でも危惧しています。スクールバスの運用を見据え、バス停をどこに設置していくのかも考慮していただきたいです。</p> | <p>ご意見については、今後の参考とさせていただきます。 なお、駐車場については、北舎北側と南舎の南側には、駐車、送迎スペースを配置いたします。</p> |
| 10 | <p>プールはなくなるのでしょうか。また、中学校敷地の活用や大和南中学校と他の中学校との統合などの見解はこれまであったのでしょうか。</p> | <p>プールについては、利用する機会が減少しているため、小中一貫となった場合を見据え、水泳授業を民間のプールで行うことを検討しています。 また、大和中学校への統合の検討については、シン学校プロジェクトの地域からの提案が大和南地区に学校を残すというものであり、小学校敷地を活用した計画でした。意見として統合の話もありましたが、議論はしていません。</p> |